

【編集後記】

『言語習得と日本語教育』第3号を無事に発行することができまして、大変有難いことと存じます。投稿して下さった皆様はじめ、橋本先生、編集委員の皆さまに深謝いたします。今号は接続詞「けど」「けれども」「が」の習得に関する研究と、外国人児童に対する日本語支援に関する研究の2本の研究論文が掲載されています。本ジャーナルのタイトルに相応しく、言語習得理論に基づいた研究から、現場での教育および支援実践から得られた課題を追求する研究まで、幅広く旺盛な研究意欲に支えられていることが分かります。本ジャーナルの「世界の日本語教育」シリーズは今号で合計7件になりました。今号ではスペインと中国の日本語教育に携わるゼミ生の生き生きとした報告を是非お読みいただきたいと思います。また、「教育現場の声」はTA(ティーチング・アシスタント)の視点から見た日本語学習支援について、示唆に富む文章となっています。

さて、毎年3月の研究会は、現役生の研究の集大成が口頭発表で披露される場であると共に、修了生と現役生及び大学生と院生の貴重な交流の場ともなっています。コロナ禍の折から、オンライン参加も可能としたことから、世界各地で活躍するゼミ生が参加することができました。いよいよ新型コロナウイルス感染症がインフルエンザと同様、第5類に分類されることになりました。日本語教育の場が広がることが予想される中、本ジャーナルと研究会の益々の発展をお祈りします。(今村)

言語習得と日本語教育 第3号

ISSN 2435-8053

Language Acquisition and Japanese Language Education

2023年3月25日 発行

【編集・発行】

子どもと大人の日本語習得と教育デザイン研究会

代表： 会長 橋本ゆかり

横浜国立大学教育学部・大学院教育学研究科 橋本ゆかり研究室

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-2 第3研究棟 611号室

TEL & FAX: 045-339-3316